

SUCCES 任意形立体骨組解析 メンテナンス履歴

Date	Version	修正項目
2013/05/31	1.32	《改善項目》 ・ Windows 8 に対応しました。 ・ [ヘルプーマニュアル]を Adobe Reader XI に対応しました。
2011/03/02	1.31	《改善項目》 ・ Windows Vista および Windows 7 の 64bit 版に対応しました。
2003/12/25	1.30	《修正項目》 ・ 分布荷重の入力において、MD2 カードで入力したデータを基準データとして THR2 カードで 4 個以上の部材番号を指定すると、荷重分布幅が適切でない数値で計算される不具合を修正しました。
2003/08/28	1.29	《修正項目》 ・ A 活荷重または、B 活荷重の L 荷重載荷において、 p_1 荷重の荷重強度 (10kN/m^2 、 12kN/m^2) を着目種類により自動設定する場合、せん断力 (面内、面外)、ねじりモーメントおよび支点反力に着目について、 p_1 荷重の荷重強度が 10kN/m^2 (正しくは 12kN/m^2) で計算される不具合を修正しました。 ・ T 荷重および線活荷重処理について前バージョンの不具合修正に不備がありましたので、修正しました。 ・ TT-43 荷重(道路橋示方書 平成 2 年度)機能を削除しました。
2002/11/28	1.28	《修正項目》 ・ T 荷重処理において、仮想主桁との微小間隔長を 0.0001m ($=0.1\text{mm}$) に設定している場合、張り出し位置にある車輪位置の影響値の算出方法に発生した不具合を修正しました。 ・ せん断力に着目した場合、支承線位置における線活荷重 (L20 荷重) または T 荷重の衝撃係数の扱いに発生した不具合を修正しました。
2001/08/29	1.27	《機能追加項目》 ・ 統合プロテクト、KTS ねっとさーば Ver3.0 対応
2000/07/21	1.24	《修正項目》 ・ S I 単位系において、T 荷重を ACP 着目 (着目点の断面力が最大、または最小となるように活荷重を載荷し、その載荷状態で他の着目点の断面力を算出する方法) で計算した場合、従来単位系の荷重強度で計算される不具合を修正しました。 ・ S I 単位系において、TT 4 3 荷重のトレーラ荷重を計算した場合、従来単位系の荷重強度で計算される不具合を修正しました。
2000/06/07	1.23	《改善項目》 ・ PDF 形式の操作解説書を追加しました。 《修正項目》 ・ 橋面荷重図において主桁本数が 2 1 本以上の場合、主桁の寸法線部分が正常に描画できない不具合を修正しました。 ・ 断面力、支点反力の抽出結果の集計表において S I 単位系で「tf」と表示される不具合を修正しました。
1999/07/08	1.22	《修正項目》 ・ S I 単位系において p_1 活荷重強度を自動設定した場合、荷重強度が 1.0 or 1.2kN/m^2 で計算される不具合を修正しました。 ・ メニューの環境設定で、notepad.exe 以外のエディタを指定した場合、毎回再設定が必要となるように修正しました。 ・ ACP 着目時の支点位置の回転変位最大最小時の反力が、SCP 着目した値を超える不具合を修正しました。
1999/06/24	1.21	《修正項目》 ・ p_1 荷重載荷時で載荷点数の総数が 1 1 個以上の場合、計算がエラーとなる不具合を修正しました。 ・ 支点連成パネの S I 単位変換の場合、余分なデータが書き込まれる不具合と “*” コメント行による読み込みのカウントがおかしくなる不具合を修正しました。